

唯物論

2 1974, 5

唯物論編集委員会編

特集 ● 自然科学

岩崎允胤・宮原将平—自然科学的認識の諸問題

田中—現代物理学—力学の弁証法—

長谷部勝也—真空(空間)の物質性について

古在由秀—宇宙論

南雲与志郎—反精神医学について

秋間実—分析哲学者たちの自然科学観の批判

汐文社

現代自然科学と唯物弁証法

岩崎允胤・宮原将平著

A 5 判上製函入 3000円

自然科学が各分野でめざましい発展をとげている今日、唯物弁証法のみがその成果を総括し、発展の展望を開くことができる。本書では、たんなる科学的自然観を解明するのではなく、自然にたいする科学的認識をその発展という観点を基礎において展開する。唯物論を志向する自然科学者と哲学者の「学際的」協力による意欲的な共同労作

自然科学と社会科学の統一

フィードラー著 岩崎允胤訳

46 判上製函入 1200円

マルクス＝レーニン主義的な科学の統一とは何か？ 新実証主義哲学の提起する「統一科学」理論を批判的に分析し、マルクス主義科学論の体系的展開を試みた斬新な労作。現代科学の発展と最新の到達点に即して、自然科学と社会科学の統一の現代的意義をマルクス主義の世界観との関連において究明する。訳者岩崎允胤氏の解説を付す

マルクスと技術論

クージン著 金光不二夫・馬場政孝訳

46 判上製函入 900円

ソ連技術史学界の代表的理論家である著者が、マルクスの諸著作、とりわけ『資本論』に依拠し、技術にたいする基本的な見方、技術史、技術の発展の法則性などについてのマルクスの見解を克明に跡づけたユニークな労作。公害・環境問題や社会発展における科学・技術のはたす役割などが問題になっている現在、その今日的意義は大きい

新しい自然観

坂田昌一著

国民文庫(現代の教養)版 250円

わが国の生んだ世界的な原子物理学者のひとりであり、また科学者の平和を守るたたかひについて、自らの実践を通じてその典型を創造し大きな教訓を遺した故坂田昌一博士の珠玉の論集。今世紀に急激な進歩をとげた原子物理学の発展を歴史的に明らかにし、自然観の変革・発展、現代における学問・研究のあり方などについて論及する

科学論の世界

秋間 実著

〈5月下旬発売〉 46判上製函入 予価1500円

現代の代表的なブルジョア的・小ブルジョアの科学論＝分析哲学・ポパー・宇野説・コンヴェンションナリズムーなどの哲学的基礎に対する鋭い批判を展開。科学論におけるイデオロギー闘争の成果。社会科学、自然科学、サイバネティックスなどについての著者の見解を明確に提示し、マルクス主義科学論の基本原則を擁護・発展させた力作

東京都文京区本郷2-11-9

大月書店

振替口座東京16387

唯物論

第 2 号

『唯物論』編集委員会



汐文社